

栃木・佐野城（春日岡城）跡

所在地 栃木県佐野市若松町

2 調査期間 第一三次調査 二〇〇〇年（平12）七月～一〇月

3 発掘機関 佐野市教育委員会

4 調査担当者 出居 博・山口明良

5 遺跡の種類 城館跡

6 遺跡の年代 中世～江戸時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

佐野城跡は、佐野市のほぼ中央、独立丘陵を中心とした南北約六〇〇m東西四〇〇mの範囲に築かれている。今回の調査は、三の丸の東側に位置する平坦部を

対象とするもので、調査面積は約一六〇〇m²である。

検出した主な遺構として、

性格不明遺構五基、土坑四三基、溝状遺構八条、ピット二五四基がある。注目すべき遺構としてSX一が挙げられる。東西約一六m南北



（古河）

北約九mの堀状の遺構で、遺構内に幅一～二mの大型の礎石や階段状遺構、溝状遺構、瓦と礫石を敷き詰めた土坑などが配置されている。ただし、本遺構が城郭に伴うものか、それ以前にあつたとされる寺院に伴うものは不明である。

木簡（卒塔婆）は、SX一内の埋土から出土した。

8 木簡の釈文・内容

(1) (キヤカラバア) □ (490)×(50)×5 061

片面に五輪塔を描き、その内部に梵字五文字を記す。五輪塔の下部にも文字が記されているが、判読できない。

9 関係文献

佐野市教育委員会『佐野城跡（春日岡城）II』(1991年)

（山口明良）

